

令和6年1月17日

「合理的配慮の提供」から まほろば健康パーク「スイムピア奈良」への要望 (議事録)

場所：奈良県庁2F会議室

日時：令和6年1月17日 13:30～

出席者

スポーツ振興課

課長補佐：西川伸子

スポーツ振興課スポーツ人材育成係

主査：阪口彩加

公園緑地課

課長補佐：高木悟

奈良フレンズ

副会長：寺山昌信

① 障害者コースの指定(2～3コース)

寺山：健常者とは泳力の違いと介護者を必要とする場合があるので専用コースを設けて欲しい。

高木：現時点で利用者の約 1/3 が障害者手帳のお持ちの方なので指定管理者(奈良新県営プールPFI株式会社)と検討する。

② 障害者団体(グループ)の専用利用(2～3コース)

寺山：コース利用料金を免除して欲しい。

高木：個人での障害者利用は免除しているが、その差額料金は県から管理者に補助している。

コースの時間貸しも障害者の場合は半額としているが、それも県から管理者に補助している。免除となると県からの補助が増えるので予算を増やして貰わないといけないので時間がかかる。

③ 駐車場満車の改善

寺山：近隣住民が近鉄利用で駐車しているのが多いのでゲートを設けて有料化。但し施設利用者には無料または、3時間までは無料とする。

高木：そもそも浄化センターが出来た頃は近隣住民に迷惑がかかるので(当時：奈良県フラワーセンター)駐車場利用を承認していた部分がある。

寺山：今の時代に公平性観点からもそれは通じないのでは？

高木：これも同じくお金の(ゲート設置費用)のかかる話なので早急の対応は難しい。ただ、公園の整備計画があるのでそれと合わせて検討する。

④ ならやまプールの再開

寺山：奈良国体に向け選手育成を考えると障害者専用の練習プールは必要なので、ならやまプールを再開して欲しい。

以前、奈良市のスポーツ振興課へ幾度となく改修修理のお願いに行ったが、予算が取れないので再開は無理と言われた。また、ここに来てプールと併設する奈良市総合福祉センターが閉館の予定と公表した。

なんとか再開してもらえるよう署名活動しているところである。
個人的には市の負担が発生するが国体補助金を利用して欲しいと考えている。

阪口氏は専用プールの必要性および開設には理解を示してくれたが、県と市との違いからかそれ以上の議論には進まなかった。

以上の件は障害福祉課へも報告しておくとのこと。

1月27日

寺山：スイムピア奈良に於いてスポーツ振興課 野田課長に上記要望を再度、依頼。